

# 中井町の指定文化財

～中井町指定重要文化財～

展示期間 平成20年11月1日（土）～27日（木）  
会場 中井町郷土資料館



## 特別展説明の日程

平成20年11月1日（土）

- |     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 1回目 | 11:00～ | (15分間) |
| 2回目 | 13:00～ | (15分間) |
| 3回目 | 15:00～ | (15分間) |

### 鷺の舞

この舞は、五所八幡宮の例大祭に、神輿が着く御旅所で奉納される神事の一つであり、古くから伝わる疫霊祓除の呪芸に属する貴重な民俗芸能であります。

この舞は、雌雄一对の「鷺」から始まりそれぞれ「龍」、「獅子」の順に二人の舞手がその動物を象どった張子をかぶり、次々に厳粛、荘重に舞うもので、このような舞は全国的にも珍しいものであります。

主催 中井町・中井町教育委員会  
中井町文化財保護委員会

## 半分形の山車と彫物

この山車の形態は、飛騨や秩父のものに近く、高さ 3.27m、横 2.70m、奥行き 3.38m、側面は優美な出格子造りになっています。

材料は、ほとんど檜で全部切組式の緻密な工作が施されています。

欄干の擬宝珠などは、京都の職人の手になる金銅鑄造で、細かい部分も精巧であります。彫物も極めて精巧で、優れた美術工芸品といえます。特に、脇欄間の昇り、下り竜などは、彩色も絢爛豪華なものです。



## 田中の山車と彫物



この山車の造りと大きさは、半分形のものとはほぼ同じですが、特に漆塗りが入念に施されています。彫物については、手法や図柄から見て、半分形のものと同じ人物かその身内のものと推定され、ほぼ同時代の作と思われます。



しかし、木鼻(獅子頭)の彫物は、今の山車の前身であった組立式屋台につけていたものといわれ、時代を異にしたものと思われます。

写真で見られるように、正面の欄間が鳳凰、脇欄間が上り下り竜の図柄は、半分形と極めて似ていますが、宮本や藤沢のものとは、彫刻や彩色の系統が違います。

## 宮本の山車と彫物

この山車は、大正5年に類焼しましたが、同8年に再建されたものです。形や寸法は前のものを復元したので、他の3車に比べ一まわり大きいのが特徴であります。彫物は、幸いにも分散所蔵されていたため焼失をまぬがれました。

数多い彫物は、極めて素朴豪放な彫りで、力強さに魅力を感じる作品であります。





## 藤沢の山車と彫物

この山車の造りと大きさは、半分形や田中のものと同じで、製作年代もほぼ同じと推定されます。

彫物は、図柄が半分形、田中のものとかかなり趣を異にしたものが多く、その点、宮本と類似しています。

宮本と同様、特に脇欄間の彫物に見られるように、人物（唐様）を配した彫物は半分形や田中のものにはなく、明らかに製作者の系統を異にしたものであります。



## 五所宮囃子



この囃子は、奉納囃子の性格が強く、初期には現在の山車の前身である組立式屋台から奉納されたものであります。この囃子は系統を小田原囃子と同じくするもので、江戸時代中期八幡宮の祭囃子として氏子が入り入れたものです。各地区共に笛(1)で旋律をとり太鼓(1)、締太鼓(2)、鉦(1)でリズムをとるので、五人囃子とも呼ばれています。

## 五所八幡宮奏楽

今の当宮で行われている厳粛な祭祀の時に行われています雅楽は、規模は小さいながら続けられています。雑色自治会奏楽保存会の5人によって古式の楽服をまとい祭祀に合わせて「越天楽」の曲を奏でています。この雅楽奏上は、昔ながら行われてきたことが当宮の縁起からもうかがい知るところですが、昭和の戦中戦後10余年は、神事が一時中断されましたが、昭和28年に再び復活し、現在に至っています。



### 木造薬師如来立像

木像薬師如来立像は、泰翁寺境内の薬師堂にあり、大きな厨子の中に安置されています。立像は、高さ 85 cm、光背全高 90 cm、台座全高 26 cm であります。仏像専門家山田先生の鑑定により、その姿、作風から、平安後期の作で「藤原仏」（平安時代の仏像）の特色がよく表現されているといえます。

この古仏は、同地の修験寺別当城正坊成願寺の薬師堂に祀られていたもので、明治初年に廃寺となってしまったため泰翁寺に移されたといわれています。



### 木造阿弥陀三尊像



この像は、境別所自治会所蔵の本尊様であります。この三尊像は、阿弥陀堂に使われていた檜の丸柱と木組みをそのまま利用した祭壇の中に納められています。

阿弥陀如来は、浄土系の寺院の本尊とされているものが多く、この阿弥陀三尊像は大変立派なもので、像の高さは約 52 cm、幅 41 cm、台座の高さ 42 cm、光背を含んだ総高は 130 cm もあり、一般寺院の本尊様より立派なものです。脇侍の観音菩薩像と勢至菩薩像は、それぞれ像高 59 cm、台座の高さ 12.5 cm です。

### 木造十一面観音坐像

この像は、大久保自治会所蔵のもので、江戸中期の作といわれ、高さ 20 cm の台座にのった像高 33 cm の像で、彩色を施さない素木状の寄木造りであります。

十一面観音は六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上）の中の修羅道に落ちた者を救う仏（菩薩）であり、本面と頭上の十一面で観音の心と力を表現しています。



### 木造大日如来坐像



この像は、半分形自治会所蔵のもので像高 26 cm、台座の高さ 25 cm の寄木造りの座像で、江戸中期の作と思われます。

造りも形もよく整い、ほぼ完全な姿で保存されてきたのは、当時からの地区の信仰心の篤い人々によって守られてきたからだといわれています。

大日如来とは、文字や言語を通さず、直接「仏」になる道を求める密教における最高位の仏如来であります。



## 五所八幡宮の梵鐘

八幡宮の梵鐘は、境内西側を下る坂の途中、九尺四方（約 273 cm）の鐘楼堂に吊られ、寛永 6 年（1629 年）の鑄造で高さ 95 cm、下辺の口径 65 cm で町内に現存する最古の物であります。

この梵鐘には、文字が彫られていてその刻文から、八幡宮とありながら「寺中豊饒、仏法興隆」を願い、神仏信仰を一つにしていたことが読みとれます。



## 米倉寺の梵鐘



米倉寺の「梵鐘」は、米倉繁次の時代、寛永 7 年（1630 年）鑄造で本堂の西脇軒に吊り下げられていましたが現在は建物が変わったため、はずされています。

この鐘は、高さ 110 cm、下辺の口径 60 cm で重量は 60 貫（約 225 kg）と伝えられ側面には文字が彫られています。

この鐘は、昭和 30 年頃まで午前 11 時に「時の鐘」を鳴らしていました。

## 米倉寺本堂大間正面及び内陣の欄間彫刻六基

米倉寺本堂大間正面の欄間彫刻は、中央に「飛龍に雲と波」（縦 60 cm、横 210 cm）左右に「唐獅子に牡丹」（縦 96 cm、横 172 cm）があり、その奥内陣正面にも中央に「飛龍に雲と波」（縦 50 cm、横 214 cm）左右に「麒麟に雲と波」（縦 70 cm、横 176 cm）の計 6 基があり、重厚かつ風格があります。

この欄間彫刻の作者は、裏に墨書があり梅沢の彫刻師杉崎佐吉政貴といわれています。また、この彫刻は、天保 3 年（1832 年）当山 18 世の代に寄進されたものといわれております。



## 米倉一族墓石供養塔十基



米倉一族の墓石・供養塔合わせて 10 基（一枚石塔・五輪塔・宝篋印塔）は、井ノ口米倉寺境内にあり、甲州武田家臣米倉丹後守種継公と子平太夫繁次と孫権平三代一族の墓です。これら 10 基の墓石・供養塔は、慶長 5 年（1600 年）から天和 3 年（1683 年）までの造立で、初めのもの 400 年を経過しています。

### 雑色下ノ庭道祖神



この像は、大変素朴な姿の合掌型で、袖が極めて短く代表的な三頭身像である。左側に寛文9年（1669年）の文字がおぼろげながら読みとれますので、現在中井町にある道祖神では最も古いものといえます。

### 半分形谷戸庭道祖神

標準型の僧形で長袖、裾の方が開きすっきりとした形ですが、永年の風化で顔立ちが定かに判りません。



向かって左側に刻まれている年号は寛文11年（1671年）とはっきり読みとれます。これは中井町の道祖神では最も古い造像の一つで文化財としても貴重なものです。

### 半分形沖庭道祖神



この像は、同地区の谷戸庭のものと同型のもので、両側に字らしい刻みのあとがみえますが、判読は困難ですが、中央上部に僅かに「寛文拾一年」と刻まれています。

### 鴨沢中庭道祖神

寛文12年（1672年）の像造で、形は、典型的な舟形光背、僧形合掌像ですが、雑色の下庭のものとは違って長袖の五頭身で、すっきりしたものです。



### 古怒田道祖神

この像は、合掌双体像ですが、卵形の頭ではなく、男神は、額から頭の部分が損傷していて、有髪か有冠か判りませんが、女神の方は、彫りも鮮明で髪は耳まで垂れ、慈愛に満ちた穏やかな面差しの立派なものです。建立は、元禄8年（1695年）で中井町でも寛文年間に次いで古く、異形の一つとしても貴重なものです。



### 垂揺球儀(正時版符天機)



江戸時代後期、加賀藩により作られたといわれる時計で、「すいようきゅうぎ」と読み、江戸民具街道に所蔵されています。

はと時計と同じ原理で動作し、振り子の長さを変えることで、誤差を調節することができます。

全国的にも大変貴重なものです。

# 神奈川県指定天然記念物



## 槐（エンジュ）

中井町雑色の子ノ神社境内にあり、高さ16m、周囲目通り約8m、推定樹齢800年、中国原産まめ科の落葉喬木、初夏の頃、小枝の端に淡黄色、蝶形花を咲かせます。

実は、莢に入って垂れ下がります。

この槐については、五所八幡宮にまつわる伝説があります。

## 町指定文化財一覧表

指定号	名称	種別	指定日
1号	鷺の舞	無	S52.4.1
2号	半分形の山車と彫刻	有民	S52.4.1
3号	田中の山車と彫刻		S52.4.1
4号	宮本の山車と彫刻		S52.4.1
5号	藤沢の山車と彫刻		S52.4.1
6号	五所宮囃子（宮本地区）		無民
7号	五所宮囃子（藤沢地区）	S53.11.1	
8号	五所宮囃子（田中地区）	S54.4.1	
9号	五所宮囃子（半分形地区）	S54.12.1	
10号	五所八幡宮奏楽		S60.4.1
11号	木造十一面観音坐像	有	S60.4.1
12号	木造大日如来坐像		S60.4.1
13号	木造薬師如来立像		S60.4.1
14号	木造阿弥陀三尊像		S60.4.1
15号	五所八幡宮の梵鐘	有	S60.4.1
16号	米倉寺の梵鐘		S60.4.1
17号	米倉寺本堂大間正面及び内陣の欄間彫刻六基	有	S60.4.1
18号	米倉一族墓石供養塔十基	有	S60.4.1
19号	雑色下ノ庭道祖神		H9.6.1
20号	半分形谷戸庭道祖神		H9.6.1
21号	半分形沖庭道祖神		H9.6.1
22号	鴨沢中庭道祖神		H9.6.1
23号	古怒田道祖神		H9.6.1
24号	垂揺球儀「正時版符天機」	有	H11.8.18

無：無形文化財      無民：無形民俗文化財  
有：有形文化財      有民：有形民俗文化財



<併設展示>

中井誕生100周年記念

なかむら

いのくち  
むら

# 昔のくらし展

展示期間：平成20年11月1日（土）～27日（木）

会 場：中井町郷土資料館



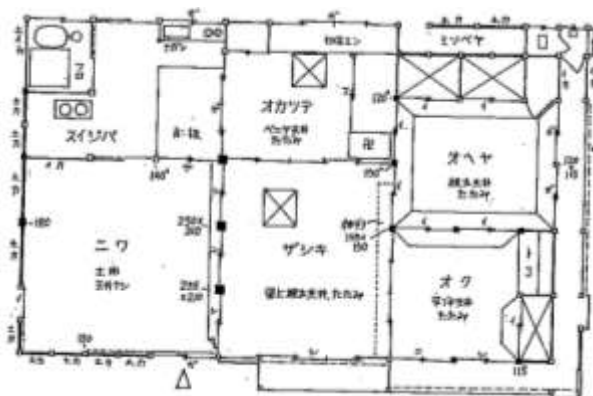
囲炉裏のあるザシキの様子



むしろ織の様子



かまどの様子



旧家の平面図（一例）

主 催 中井町・中井町教育委員会  
中井町文化財保護委員会